

## “サルサ”で 世代間交流しませんか？

### Uターンの西本さん



▶誰でも気軽に踊れます

旧・光徳小学校の空きスペースを活用して「サルサダンス」の教室が、今年からスタートしています。講師を務めているのは、2011年に東京から大山町御崎にUターンした西本憲人さん。東京で習っていたサルサを地元大山町でも広めていきたいと教室を開きました。

サルサとは中南米発祥のラテンダンスです。西本さんは、カリブ海に浮かぶ島国に起源をもつ『キューバンサルサ』を専門としています。

この教室を知って、サルサを踊り始めた人がほとんどです。8歳から60歳代の幅広い年齢層の老若男女が参加していて、地域の世代間交流の場にもなっています。

講師の西本さんは「ラテンの陽気なリズムにのって、みんなで楽しく踊ることによって、大山町から元気を発信していきたい」と意気込んでいます。

教室は毎週火曜日、19時から行われています。見学もできるそうです。



▲春を彩る行事です

## 新緑に包まれ 御神幸行列

逢坂八幡神社

(松河原)

5月4日(土)、逢坂八幡神社例大祭が行われ、古式ゆかしい行列を見ようと大勢の人が沿道に集まりました。「鳥毛・白毛」の華麗な舞を交えながら、伝統の装束を身にまとった氏子たちが本殿から御幸場まで練り歩きました。

御幸場では、神事のほか氏子の乙女たちが「浦安の舞」を奉納し、平和と安泰を願って舞う姿に大きな拍手がおくられました。

## 紫香る藤の花 藤まつり、古文原まつり

5月3日～5日、今年も「藤まつり」が住雲寺(古御堂)で行われました。4日は雨が降ったものの、特に5日はさわやかな好天となり、藤の花を楽しもうと次々に家族連れやカップルが訪れました。

また、住雲寺すぐ近くの古文原ふるさと会館では、「古文原まつり」が4・5日の2日間行われました。地元で収穫したソバと黒大豆を使った、手打ちそばと藤豆腐が提供され、昼食時には行列がでるなどにぎわいました。



▲にぎわう古文原ふるさと会館

「黒大豆でこんなにきれいな色がでるなんてびっくり。風味豊かな豆腐でおいしい」と来場者から大好評でした。



▲次々にそばの注文が入ります



▲藤の花を背景に記念写真